



環境を守りましょう

水稻用一発肥料にはプラスチックが使われています

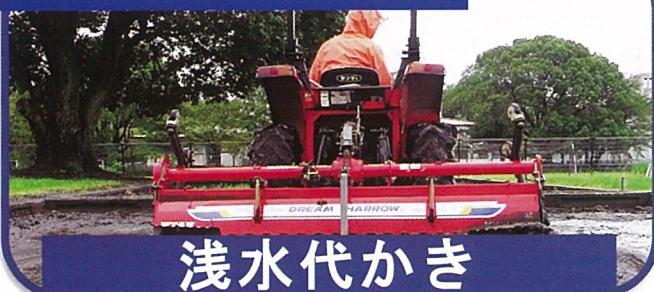
# 水田から流出させない 対策をお願いします

被覆肥料は、プラスチック等で肥料をコーティングしているため、肥効の調節が可能です。施肥回数減による軽労化、施肥量の削減、養分の流出防止などの利点がありますが、一方で肥料成分が溶出した後の被膜殻が河川や海へ流出することが問題になっています。

被覆肥料の殻は  
水田から流出させないようにしましょう！



殻を流さないために



# 対策のポイント

## 浅水代かき

### ● 均平化

入水前に田面はできるだけ均平にしましょう

浅水での代かき



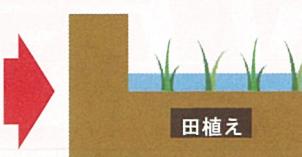
被覆殻が流出しない



### ● 畦畔管理

あぜが崩れていないか確認しましょう

排水溝に止水板を設置し、代かき時にはあぜの高さ以上に



### ● 入水量

大部分の地表が見えるぐらい浅めの入水にしましょう

落水せず当日～数日のうちに移植しましょう！

### ● 自然落水

移植前の落水は行わず自然落水により水位を調整しましょう

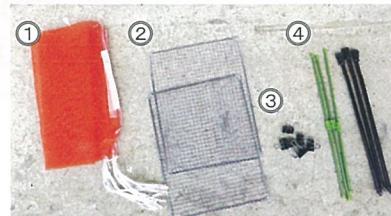


## 捕集ネットの使用

※慣行の代かき、強制落水を行う場合の対応策です

### ①材料を揃える

- 材料例 / ①ネット(網目2ミリ以下)  
※種もみネット等  
②板状の網  
③クリップ  
④園芸用支柱



### ②水尻に設置



◎二段構えで糞詰まりを防ぐ



被覆肥料の殻の  
流出防止対策動画

You Tube にて  
対策動画を公開しています

※圃場により微細な浮遊物や糞残渣がネットに付着して、落水時間が長期化する、もしくは停止する場合があります

※毎年浮き糞が多い圃場では浅水による代かきで、土中に糞や殻を鋤き込む対策が効果的です

## 〈製造メーカー・全農による共同研究・開発について〉

①環境にも配慮するため、光や微生物の働きにより土壤中に崩壊・分解しやすくなるように各メーカー工夫をしていますが、分解するまでかなりの時間がかかります。

②より速やかに分解させる技術の確立を目指し、メーカーと協力して研究開発に取り組んでいます。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS